

津波・高潮

海岸に近い低い土地や河川沿いでは、津波や高潮によって浸水被害が発生するおそれがあります。

津波や高潮が発生する状況を正しく理解し、いざというときにはすばやく避難できるように心がけておきましょう。

津波と高潮について

	津波	高潮
発生原因	海底の地震など	台風や低気圧
現象	スピードの速い大きな波が繰り返し来襲し、浸水被害が起こる。	長時間にわたり、異常に高い潮位が続き、浸水被害が起こる。
注意すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 沿岸部で高くなり、防潮堤等乗り越えて浸水を引き起こす。 破壊力があり建物などを破壊する。 地震が起きてから短時間で来襲する。 地震による建物倒壊により避難が困難になることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 大潮時や満潮時に発生しやすい。 台風の接近時には、警戒が必要です。 大雨や暴風により避難が困難になることがある。
予想される状況	<p>国の中央防災会議の調査によると、東南海・南海地震が発生した場合、松前港には地震発生からおよそ2時間後に津波が到達すると予測されています。</p> <p>津波そのものの高さは1m以下ですが、満潮と重なると海拔2m以上の水位になる場合も考えられます。</p>	<p>これまでで最も高い高潮水位は平成3年の台風19号のときで、海拔3mまで達しました。</p>

津波と高潮に対する心得

1 小さな揺れでも油断禁物!

小さな揺れでも津波の危険性があります。まずは避難を最優先させましょう。



4 避難に車は使わない

車での避難は渋滞を生み、被害を拡大させます。原則として車での避難はやめましょう。



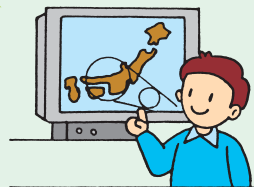
2 高い場所へ避難する

海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。浸水が始まったら高いビルまたは丘など少しでも高い所を選ぶことが賢明です。



5 正しい情報を聞く

ラジオ・テレビ・防災行政無線などで、正しい情報のもと、素早い避難行動をとりましょう。



3 津波のスピードは速い!

津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。また、「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。



6 家族で実際に歩いてみる

実際に避難場所まで歩いて途中で冠水しそうな所がないかしっかりチェックしておきましょう。

